

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	・目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。			
	全般結果	<p>基本・補助監視地点 基準値:SS=7mg/l</p> <p>・St.1およびSt.3において、基準値を超える値が観測された。</p> <p>-----</p> <p>工事現場周辺監視地点 基準値 St.5~7:SS=7mg/l St.8~13, St.17~20: SS=11mg/l</p> <p>その他の監視地点 基準値:SS=11mg/l</p> <p>・St.14=33回(12~101mg/l)、St.15=2回(13、15mg/l)、St.16=2回(12~16mg/l)</p> <p>-----</p> <p>流入水路部</p> <p>・SS=11mg/lを超えた回数:St.A=36回(12~62mg/l)、St.21=39回(12~62mg/l)、St.22=54回(12~90mg/l)</p>	<p>・対象期間を通して、工事現場周辺(St.5~13、17~20)から工事に由来すると考えられる基準値を超えた濁りは観測されなかった。</p> <p>・観測された濁りは、波浪などによる底質の巻き上げ、降雨による流入水路からの濁水の流入などが影響していると考えられる。</p>	
水質調査結果	基本・補助監視地点	<p>・18日午後St.1において基準値を超えた値が観測された。</p> <p>・20日午後St.3において基準値を超えた値が観測された。</p>	<p>・18日は正午ごろに降雨があり、その影響で流入水路部から濁水が流入し、流入水路部周辺や岸近くの調査地点で高い値の濁りが観測された。工事現場周辺では基準値を超える値は観測されておらず、St.1で観測された濁りは降雨による濁水の流入による影響と考えられる。</p> <p>・20日は工事は行われておらず、St.3において観測された基準値を超えた濁りは、工事由来の濁りではなく波浪などによる局所的に発生した濁りなどが影響していると考えられる。</p>	・特に無し
	工事現場周辺監視地点	<p>・St.17では2~5日の午後、31日午前午後に基準値を超えた値が観測された。</p>	<p>・基準値を超えた調査日に工事は行われていない。観測された値は台風の強風・波浪などによる底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。</p>	
	その他の監視地点	<p>・St.14では2~12日、16~20日、22日、23日、29~31日に基準値を超えた値が観測された。</p> <p>・St.15では17日、18日に基準値を超えた値が観測された。</p>	<p>・工事現場周辺では工事に由来すると考えられる濁りは観測されていないため、降雨による流入水路からの濁水の流入や波浪などによる底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。</p>	
	流入水路部	<p>・St.16では7日、18日、20日に基準値を超えた値が観測された。</p> <p>・St.Aでは1~18日、21日、26日、28~31日に11mg/lを超えた値が観測された</p> <p>・St.21で1~8日、10日、12日、13日、15~20日、23~28日、30日、31日に11mg/lを超えた値が観測された。</p> <p>・St.22で1~31日に11mg/lを超えた値が観測された。</p>	<p>・降雨による流入水路からの濁水の流入や波浪による底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。</p>	
生物監視調査	※モニタリング調査結果は別添の資料参照			
その他	<p>・土嚢型汚濁防止膜設置日:8, 11, 12, 16, 17, 18, 22, 23, 24, 25, 26, 29, 30日(合計13日)</p> <p>・8日:工事着工</p> <p>・3~6日及び30~31日:強風のため海上調査地点の濁り監視調査休止(工事作業も休止)</p>			